寫眞週報

情報局編輯
三月廿二日・第三百十四號・十七ン

兵器は私たちで造りませう

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

『自分たちは日本人として當然進むべき道を進み、やるべきことをやつてゐるまでです』

學窓から敢然空の決戰場へと志し、今默々と空への精進をつゞける學鷲が來訪者の感激と激勵の辭にさりげなく答へた言葉です・

己を捨てゝ大義に生きるこの學鷲たちの素朴な一言をあなたもまたさりげなく吐きえませうか

「時の立札」は他へ轉載その他に御利用下さい

必勝の道をいざ進まう

陸軍記念日當日帝都の軍樂隊騎乘大行進

三月十日、大東亞殿下三度迎へる光榮の陸軍記念日、この日一億國民は、奉天會戰の大勝利に輝く父祖の偉業を偲び、國難重ねて來たる今、聖戰の完遂を誓つて更に惡魔撃滅の鬪魂を沸らせた

東京都では先に決定した『決戰非常措置要綱』に基づき都内の空地利用を一段と強化させることになつたが、陸軍記念日の佳き日を期して、都下一實に晴れの飯入式を行つた

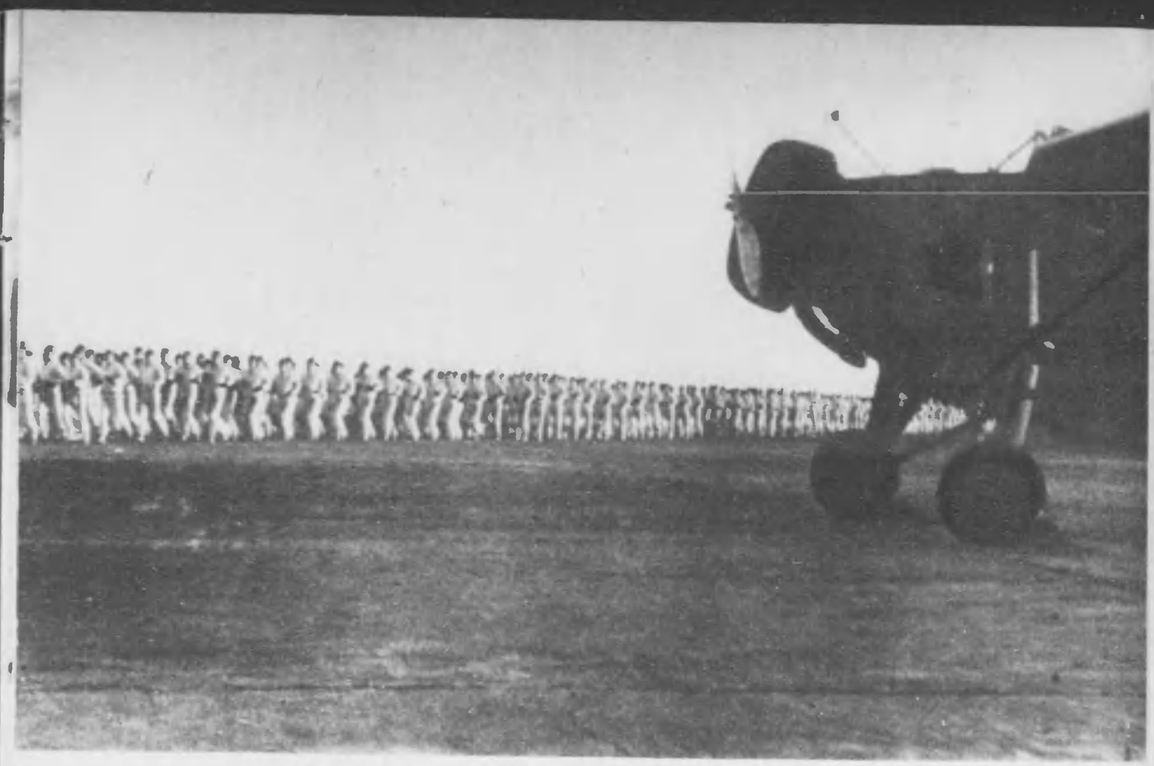
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

學鷲の出擊近し

○○海軍航空隊

昨秋九月、敵撃滅の決意に燃えて勇躍土浦海軍航空隊その他の航空隊に入隊した學鷲たちはいまどうしてゐるだらうか

怡快(いくわい)壽烈の戰局を一擧總攻勢へ轉ずべき機をひそかに期待しながら默々精進(しやうじん)一年を嘗ふわれら一億國民にとつて、學鷲こそは、われらが困苦に耐へ、まごころを以て造る飛行機で、傲慢(ごうまん)な敵の出鼻を見事たゝき折つてくれる組むべき希望である。その學鷲が出陣の日をめざして如何に自らを鍛へ自らを造りつゝあるか、こゝ○○海軍航空隊に彼等を訪ねてみよう



⇧ 總員起しの號令と共に寢臺からはね起きるや電光石火、乾布摩擦、洗面、駆足集合、朝體と、朝の日課は急速調である。朝體終れば、水平線を躍り出たばかりの太陽を望みつゝ、潑剌たる航空魂を駆足で一周、海軍體操を元氣一杯やつて、さて朝飯である

通信　基本訓練を終つて既に機上無電機に向と同樣の無電機に向つて、機上にゐると同樣の發信受信の實

⇦ 實中である

航法　航法で一番大切な、風で飛行機がどれだけ流されてゐるかを機上にゐると同機測定實習するために偏流測定機上練習機が使はれてゐるこの學鷲たちの眼下には、學鷲たちが恰も飛行機で飛んでゐるやうに、風で流されてゐるやうに地圖が次から次へ流れてゐる

⇦

射撃　敵機を拾がいた動標が右から左へ走つて行く、銃架についた學鷲は必殺の眼光鋭く動標を追つてダダダダッと引金を引く。命中彈が一回一發から三發へ更に五發へ、必死の精進は今日も

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

出陣近き學鷲との座談會

場所　○○海軍航空隊

出席者　甲本　信義（神戸高工土木科出身）
村杉　哲（京都帝大文學部出身）
山口　辰夫（桐生高工紡織機械科出身）
中根　香助（金澤高工機械科出身）
赤澤　俊次（東京都立高工電氣工學科出身）
栗谷　十郎（逢根高商東亞科出身）
石津　敬（東京帝大文學部出身）
本村　俊倫（香川師範出身）

○○海軍航空隊は偵察航空隊である。こゝでは操縦員は育てられてゐないが、中型機や大型機に搭乘して、或ひは無電を打ち、機銃を撃ち、爆撃、雷撃を敢行する海鷲が育てられてゐる。空の攻撃隊の中核をなすべき海鷲である

土浦航空隊その他で基礎的教育をうけて、この航空隊に轉じた練習學生たちも、その任務に從ひ、こゝで修めるべき主たるものは、爆撃、射撃、航法、通信である

きづ鐵の體に鍛へ、軍人精神を體得し、そして最短期間のうちにこれらの技術を完全にをさめて、空の決戰場へ向つてまつしぐら、一億の輿望に應へて出陣せんとするのである

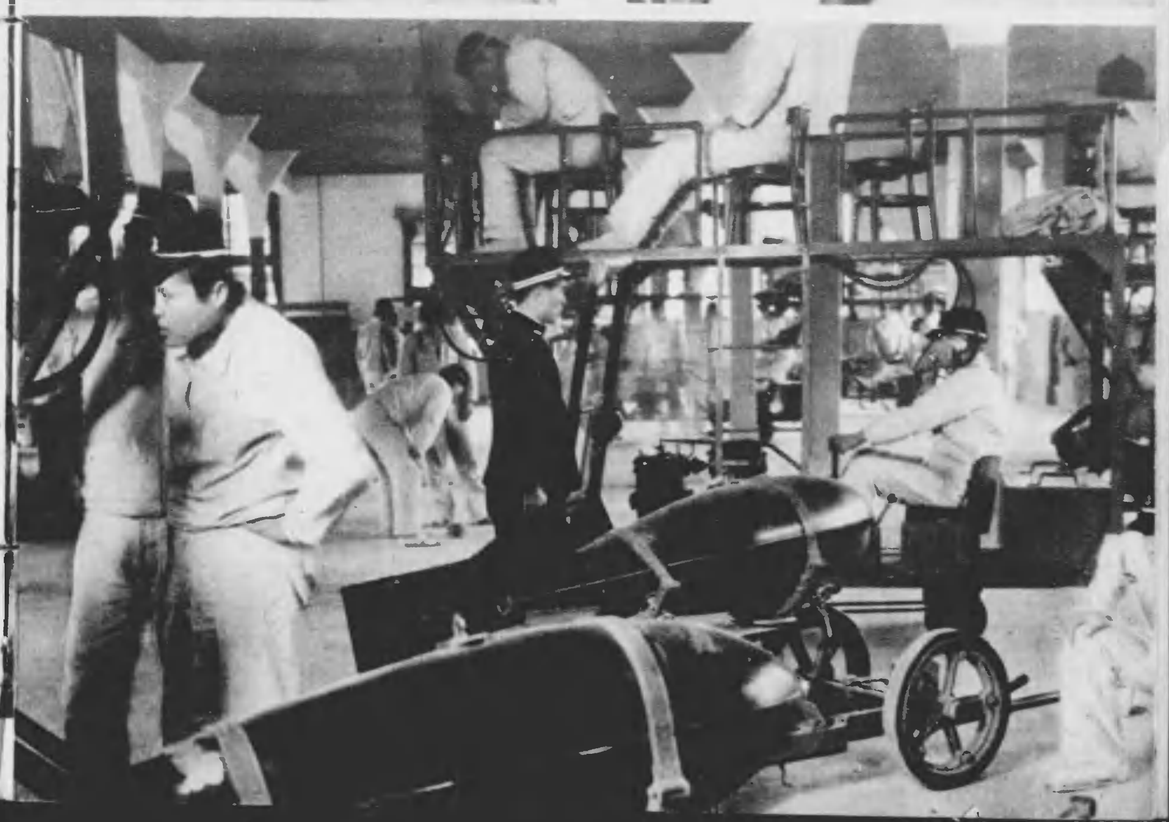
月月金金、練員起しのその瞬間から、夜の巡檢のしまきに至るまで、學鷲の時間には休みといふものはない。己を忘れてただ黙々丈夫に生き抜かうとする姿のみ精進しつゞけてゐる

撃墜者　戰局はご承知のやうに、今や苛烈極まりなく、既にわが領土の一角を侵した憎らべき敵米鬼は、さらに勢ひをたのんでわが神州に來寇せんとしてゐます。今こそ、國に乘つたこの敵の出鼻に快心の一撃を喰はせて戰局を一轉すべきときです。しかしながら、戰局を一轉し得るも得ざるも、一に懸つてわが航空戰力の増強如何にあることを思ふとき、國民は皆さん方學鷲の出陣に非常な期待を抱いてゐます。今に見ろ、學鷲諸君が翼をそろへて貴樣たちの素ッ首をたゝき折つてくれるから、と

甲本　私たちが全國民から期待されてゐることは、新聞雜誌の報道ぶりからも、各地で盛大な餞送をうけたことからもよく分ります。私たちは、その期待と激勵に應へるためにも、それだけ立派にやりとげねばならない

學鷲の出陣近し

最短期間に最優秀の海鷲をつくりあげる教官の氏創さには、學鷲たちも心から感激させられるといふ。どの教官もソロモンに、ラバウルに印度洋に輝く武勲をたてた勇士ばかりである。敵撃墜場の気魄が漲るのは當然である



地上練習もすでに始つた。憧れの飛行機に乘つて地上で教はつたことの仕上げに學鷲たちは夢中だ。飛行機の一隅では爆弾搭載の實習だ

敵の頭上に快心の一撃を喰はすべきこの爆弾が、今までどうして抱かれてゐたかを知らなかつた學鷲は、また新らしいことを一つ知つた

⇨爆撃　地上練習機が何機もづらりと並んでゐる。床上には模型の車輪が走つてゐる。本物の飛行機に乘つて本物の車輪を操縦するのと全く同じ仕掛けだ。學生たちの真剣な表情をみよう

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

と責任を感じてゐます。たゞ理屈、私たちは、一切の雑念をすてて元氣一杯、今日の訓練にはげむこと、これだけを考へてゐます

中根 土浦にゐたときから、今なほ私たちは、たゞ素直な氣持で黙々とやつてゆきさへすればよいと信じてゐます。戰局に惑はされて心ばかりあせつても何にもならないと思ひます。今の私たちが、そこにある飛行機に乘つて戰場へゆかうと思つても、できないことですが、分隊長殿のいはれるところに從つてやつてをりさへすれば、やがて戰場へ飛び立ち、力一杯、敵と戰ふ日も來るわけです。黙々實行あるのみです

石津 私たちが學校を出て航空機搭乘員になつたことを、何か急に達つたことをしてゐるやうに考へてをられるやうですが、私たちはたゞ、日本人として進むべき道を進み、日本人としてやるべきことをやつてゐるだけですから、本當に自然の氣持でみていただきたいと思ひます。若い元氣な日本人である私たちが、飛行機に乘ることも、戰場にゆくことも、そして戰死することも當然なことで少しも特つたことではありません。外出するとよく友達などから、戰死するときの覚悟はどうだ、と訊かれることがありますが、そんなことを訊かれることは本當に私たちへの侮辱だと思ひます。どうすれば本分をつくすことができるだらうかと、それだけを考へてゐるのに。本分をつくすことができねば生活全般の問題ではありません

藤井員 學科練の人たちと比べると、一体皆さん方は相當長い間、學校にあつたわけですから、いはゆる年がいつてゐるせゐで、入隊以來、何かとつらいことがあつたことでせう

山口 朝から晩までつゞく訓練に、私たちがよほど骨を折つてゐると考へられるかも知れませんが、苦勞などといふものは氣の持方一つ、考へ方一つで、私たちは本當の苦勞などといふものは何もなかつたといへます。ときゝ苦しいと思ふことがあつても、それは學生時代のだれた氣持が今なほ體のどこかに殘つてゐるせゐだと、自分で自分の心を戒めてゐます

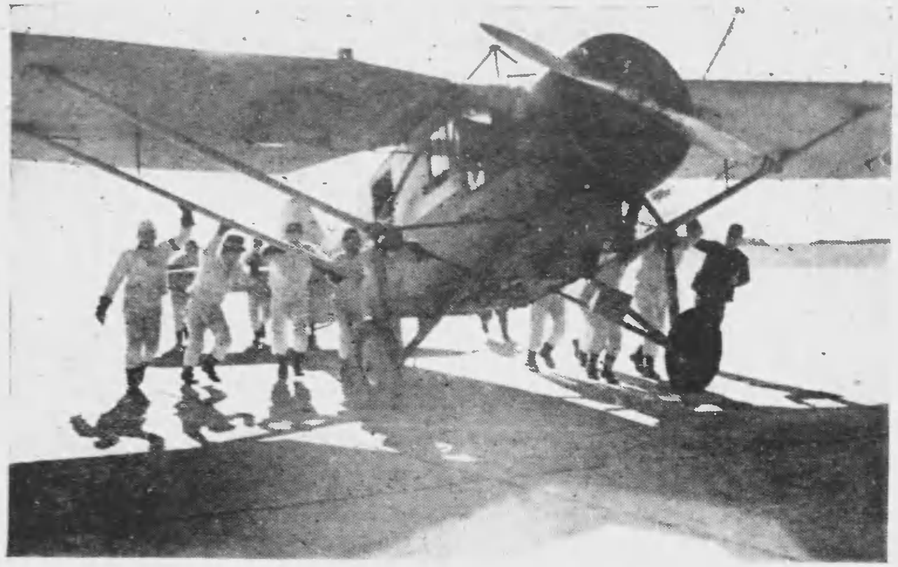
赤津 土浦の訓練はそれほど苦しかつたとは思ひません。あの訓練で、それまでひそかに抱いてゐた不安の念が一掃され

百の理論より一つの實行だ

といふことを痛感しました。豫科練の途中より年がいつてゐるといつたところで、そんなことは問題ではありませんでしたが、精神的には苦しみました。入隊したとき、私は何とかして立派な軍人にならうと考へ、大いに努力しましたが、努力の甲斐がありません。私は考へにあまつて、外出のとき、一人山に入つて坐禪をしたこともあります。結局、立派な軍人にならう、なりたいと考へるやうなことでは立派な軍人にはなれない。たゞこの私が、良くも悪下の股肱である、といふことを肝に銘すること、そして、徹底的に自分をすてることだと考へました。今も朝に晩にそれに徹することにのみ努力してゐます

木村 皆さん方は團體的にきつくなかつたといひますが、自分には正直のところきついと思ふこともありました。しかし、そのきつい訓練をうけることによつて一日々々お國に盡し得る體に近づくのだ、と考へて精進ができました

石津 私もさう思ひました。學校生活と今と根本的に相違してゐる點は、學コ學寮たちに練習機を次々と引き出した。あの大空を翔けつゝ今日もコの訓練がはじまるのだ



校でほはつきりしない目的に向つて勉強してきたのですが、いまは、一つの小さなことを考つても、それだけお國に盡せる自分といふものができ上つてゆくのがちかに感じられるわけです

村杉 大學にゐたときも、自分なりに目標を定めて精進してきたつもりですが、豫備學生に應じたときの私は、輪みて實力といふものを何一つ持たない裸の村杉が、何とかしてお國のお役に立ちたいと思ふはつきりした一念からでした。だから、この裸一貫の私を一つ〳〵お役に立つ體にして下さる訓練を、かりにも苦痛として受けることはできませんでした。むしろ、分隊長殿や教官殿が、私たちを大學や專門學校出だといふので、重荷をかけないやうに手心を加へられてゐるのではないかと、不滿に思ふことさへあつた位です

藤井員 皆さん方のその謙虚な氣持と、精進一途の心情を知つたならば、皆さん方の先輩も、また後輩も大いに感激されることと思ひます。先輩並びに後輩へ何か特にお傳へすることは

石津 先輩の方々に從つて、私たちも一日も早く戰ひたい。戰つて、戰つて、戰ひ抜きたい、それだけです。

山口 戰死された先輩は、もつと多くの飛行機、もつと多くの搭乘員がほしいといひながらなくなられたに違ひありません

きつとこの腕でその仇を討つ

要谷 私も先輩の仇をきつと討つてみせます。それから、後輩の諸君には、自分は果して海鷲になれるだらうか、なれないのぢやなからうかなど、と迷ふことなく、學生出身は海鷲になるのが當然だと考へて入つてくることを希望します。私も實は志願のときに、私のやうなものが海鷲になる資格があるだらうかと迷つたのですが、それは實に下らぬことでした

中根 その通りです。誰も何の問題もなく

村杉 海軍にはいつてから、自分の力のなさを痛感しました。ときゝ、自分は、海軍にはいつてからの數學は高等工業でやつたものよりはずつと程度が低く、中學校を出てゐるものなら誰でも出來ると思ひます

藤井員 さて、皆さん方連日の精進はきつと皆さん方を近い日のうちに鋼魂烈々たる逞しい海鷲に育てあげることと信じます。皆さん方の兩親はじめ肉親の方には、どんな氣持でその晴れの出陣の日をお待ちでせう。また、一般の國民も肉親の方と考へることなく、生活を切りつめ、窮乏に堪へ、すべてを航空戰力の飛躍的增強に捧げつゝ皆さんの出陣を待つてゐます。殊に直接飛行機製造關係の工場では、男子の工員はもとより、敢然、婦人と共に一切の私をすてた女子工員、女子挺身隊の人たちも一心になつて皆さん方の出陣の日におくれぬやうに、出來るだけ深山の飛行機を造りあげようと頑張つてゐます。これらの人たちに何か

山口 私も學校時代、或る航空機製造工場へ勤勞奉仕にいつたことがありましたが、部分品を一つ〳〵造りながら、これで組立てた飛行機に立派な搭乘員が乘つてくれるのだと考へて思はず感激し、一生懸命になつて造つたことを覚えてゐます。いま方々の飛行機工場で働いてゐられる工員諸君や挺身隊の人たちも、きつと同じ氣持だらうと思ひます。この赤誠のこもつた

生きた飛行機に乘つて

きつと期待にそふ働きをしたいと思ひます

要谷 私たちは、戰地にいつたとき、自分の乘る飛行機が、生活を切りつめ、まこゝろをこめて造られたものだといふことを決して忘れません

木村 私たちの出陣が、日本中のすべての人たちのまこゝろを以て期待され、私たちの乘る飛行機が日本中のすべての人たちのまこゝろで造られることを考へると、これに應へる道はたゞ撃つ、撃つて、撃つて、撃ちまくるのみです

山口 私は航空隊に入つていよ〳〵父母に對して感謝の念が強くなりました。實は、私が豫備學生になりたいと言つたとき、母親は眞ッ向から反對されましたが、私が日本が勝つためにはどうしても私たち學生が飛行機の搭乘員になればならないわけを言つて、やつと説得したのでした。ところが、入隊後はすつかり母親の氣持が變つて、今日も來たハガキに、いつでも大君のために死んでくれとはげましてゐられます。感激しないではゐられません

甲本 私は寝る前にいつも父母のことを考へることにしてゐます。そのたびに言ひしれぬ力が湧き出てきます。また、弟は兄の分まで働き、妹は、毎日お宮に參つて私のことを祈つてゐるといふ便りを見て、肉親の有難さにいよ〳〵決心を強めるのみです。一日も早く陛下の御爲に立派な海軍特攻として飛び立つてくれと言ふすべての豫備學生の親兄弟のまこゝろに對しても、恥ずべきはたゞ訓練第一です

赤津 私たちはいまは黙々として訓練にはげむのみですが、やがて思ふ存分働けるときが來ます。この道をまつすぐに突きすゝむ、これが親孝行の唯一の道だと考へてゐます

中根 さきのことなど考へず、ひたすら現在の訓練のことだけを見つめて、とは考へてゐますが、やつぱり、ときには敵機を撃墜する夢などを見ることがあります。そんなときなど一日も早く戰場に出て、この航空隊で鍛へられた闘志をもつて生意氣な敵の學寮に思ひ知らせてやりたいと思ひます

藤井員 皆さん方の精進、一億國民の精進、この黙々の努力は合して必ずや近い將來、飛躍的な戰力を生むことと信じます。その戰力を以て憎むべき敵を徹底的にたゝきのめさねばなりません。それまで相共に黙々の精進をつゞけませう。皆さんも頑張つて下さい

ることなく、統帥からまつすぐに航空隊の門に進んでくることです。そしてたゞ在學中からもそのつもりで訓練しておくことです

山口 學校を出たものは、どうも理論ばかりになり勝ちですが、隊のやうに、實行を第一とするところはこのために苦しみます。この點、理論一點張りの學校生活を實行第一にするやうに心掛けてやみません

藤井員 航法、通信その他理工科系統の練習が多いと思ひますが、女科系統出身の方はこの點でつらいことはありませんか

要谷 私は三角とかそのほかむづかしい數學をはじめ、理科の方の知識が足りないので、どうしようかと悩みました。そんなことは取越苦勞でしたが、心配ありません

石津 文科系統出身のものにもそんなにむづかしいものではありません。數學など苦手の者といへども、何でもやつてやれぬことはないといふ信念でやることです。必ずやれます

甲本 土浦時代は私の隊には文科系統出身の人が特に多かつたのですが、文科系統出身の人も決してさういふ點で劣つてゐませんでした。結局、努力した者が勝ちです

赤津 私の土浦時代は理科系統出身のものが多かつたのですが、一部の文科系統出身の連中に聞いても、別にむづかしくて困るといふものは一人もありませんでした

山口 私たちもさう思ひますが、海軍に入つてからの數學は高等工業でやつたものよりはずつと程度が低く、中學校を出てゐるものなら誰でも出來ると思ひます

藤井員 さて、皆さん方連日の精進はきつと皆さん方を近い日のうちに鋼魂烈々たる逞しい海鷲に育てあげることと信じます。皆さん方の兩親はじめ肉親の方には、どんな氣持でその晴れの出陣の日をお待ちでせう。また、一般の國民も肉親の方と考へることなく、生活を切りつめ、窮乏に堪へ、すべてを航空戰力の飛躍的增強に捧げつゝ皆さんの出陣を待つてゐます。殊に直接飛行機製造關係の工場では、男子の工員はもとより、敢然、婦人と共に一切の私をすてた女子工員、女子挺身隊の人たちも一心になつて皆さん方の出陣の日におくれぬやうに、出來るだけ深山の飛行機を造りあげようと頑張つてゐます。これらの人たちに何か

山口 私も學校時代、或る航空機製造工場へ勤勞奉仕にいつたことがありましたが、部分品を一つ〳〵造りながら、これで組立てた飛行機に立派な搭乘員が乘つてくれるのだと考へて思はず感激し、一生懸命になつて造つたことを覚えてゐます。いま方々の飛行機工場で働いてゐられる工員諸君や挺身隊の人たちも、きつと同じ氣持だらうと思ひます。この赤誠のこもつた

生きた飛行機に乘つて

きつと期待にそふ働きをしたいと思ひます

要谷 私たちは、戰地にいつたとき、自分の乘る飛行機が、生活を切りつめ、まこゝろをこめて造られたものだといふことを決して忘れません

木村 私たちの出陣が、日本中のすべての人たちのまこゝろを以て期待され、私たちの乘る飛行機が日本中のすべての人たちのまこゝろで造られることを考へると、これに應へる道はたゞ撃つ、撃つて、撃つて、撃ちまくるのみです

山口 私は航空隊に入つていよ〳〵父母に對して感謝の念が強くなりました。實は、私が豫備學生になりたいと言つたとき、母親は眞ッ向から反對されましたが、私が日本が勝つためにはどうしても私たち學生が飛行機の搭乘員になればならないわけを

温習 夕食ですんだら直ちに温習をはじめ、理科の方の知識が足りないものは、勇躍の出陣の時を待つてゐる。今日一日に教はつたことを確實に身につけるための復習と、明日の出陣の時を待つてゐる。

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

あらゆる職場があなたを待つてゐる。あなたはどうつて つけの職場へ

職場のうちにのみこんだあなたが更に一本立ちするまで指導者がつきそ

勤勞に體操に鍛へられ、あなたの身も心も決戰乙女に生れ變つてゆく

工場はあなた方挺身隊を待つてゐます

※　※　※

乙子は立派な德で職場に送り出しておきながら、『可愛い娘を工場なんぞに』といふ間違つた考へ方をする母親がこれまでなかつたらうか。家庭、殊に母親たちの『職場は娘の戰場だ』といふはつきりした自覚がまだ足らないことと、職場そのものに對する昔ながらの無理解が、これまで女子挺身隊の結成を不成績にした大方の原因だといはれる。

たゞ、こんどの決戰非常措置で、女子挺身隊の加入は強制的となつた。この際、勇躍生産陣に參加しようといふ娘達の出馬を、母親たちのこの無自覚と無理解が再び挫いてしまつてはならない。

安藤今國の首脳部は考へると、わが國の女子動員はまだまだゆとりつあるものであり、殊に『女子は徵用しない』といふ同じ親心が女子挺身隊の動員にあたつても、各方面に萬全の措置を講じてゐることを銘記すべきだ。

例へば女子の職種としても、女子の特性を十分考慮して選ばれ、作業方法や作業條件も、女子で十分能率があがるやうに出來てゐる。殊に出動する工場は、設備や環境の整つた模範工場ばかりで、勤勞管理の不十分な工場には指向けられない。

母親が一番心配する作業の危險や工場内の環境、空氣は、全く杞憂だといつてよい。

勤勞管理についても、將來、皇國母性としての責任を害はないやう、特に風紀の堅持、品位の向上、保健等に關しては、工場、事業場當事者の監督指導が嚴重に行はれてゐる。

ともかく、『職場は娘の戰場だ』といふ切實な氣持から職場を見直すことだ。現在、挺身隊が動員されて工場を十分知れば、少しの不安もなく、『可愛い娘』の勤勞を喜んで決戰生活に捧げることが出來るはずである。

※　※　※

今日『明日』の仕事を語り草に、楽しくむつみ合ふあなた方は明日の增産を誓ふ

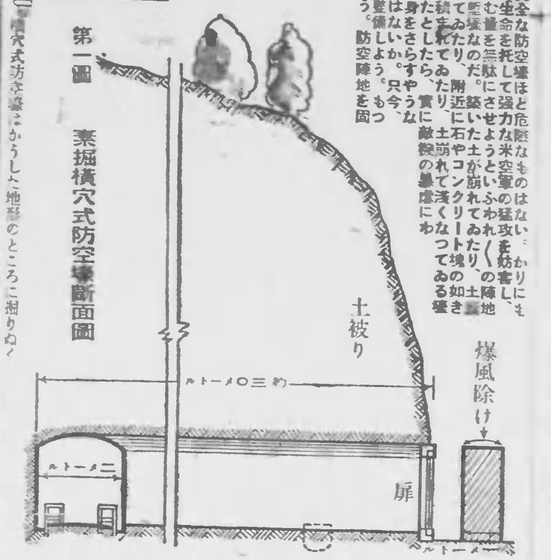
生花や裁縫など女のたしなみも教へられる。今では工場はあなたの花嫁學校だ

スウェーターを美しく編みあげたあなたの手は、今は細かい部品を躍くうちに組合せる

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

横穴式防空壕の造り方

⇦横穴式防空壕をかうした地形のところに掘りぬく



⇦不完全な防空壕ほど危険なものはない。かりにそこは生命を托し強力な米空軍の猛攻を効客しむ間を無駄にさせようといふわれ〳〵の陣地その時間を無駄にさせようといふわれ〳〵の陣地であり堅牢なのだ。築いた土が崩れてあたり一帯に積まれたり、附近の土石やコンクリート塊の如きものが破れたり、崩れて浅くなつてゐる壕があつたとしたらすぐに敵機の爆撃にわれらの身をさらすやうなものである。防空壕地を固めよう

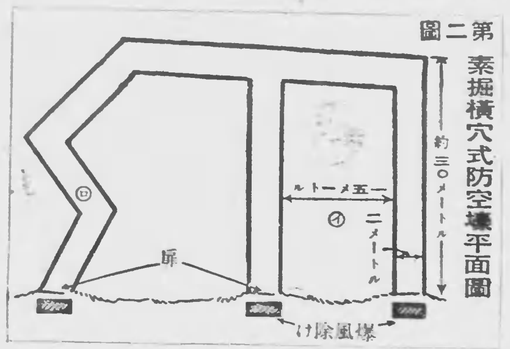
急げ待避所の強化

空襲にあつたら塚へ――いたづらに死傷を出さないためにも、次の防空活動、或ひは増産への戦力を害はないためにも、これは防空の鐵則の一つです。そこで防空重要地區では一つでも多く待避壕を掘らなければならない。できれば素掘りの壕には壕蓋を造るやうにしなければならないのですが、最近の敵空襲の様子から考へても、老人や幼児、病人、妊産婦などの防空に従事できない人達を比較的長い間、安全なところへ收容できるやうな施設が必要なことは、いまさらいふまでもないことです。この施設としては地下式の立派な防空壕がよいことはいふまでもないのですが、そんな防空壕をつくるには、たくさんの材料や時間がかゝり、今のやうにさし迫つた情勢では、とても急にたくさん造るといふわけにはゆきません

そこでいろ〳〵研究した上で、これならといふので決められた横穴式の防空壕を、東京都はじめ防空重要地區にどし〳〵造ることになりました。この横穴式の防空壕は、丘や崖地を利用してくり抜いて造るのですが、これだと普通の地下式防空壕に比べると、材料や労力が大變少くてすむ上に、土被りの厚さが十メートルもあれば、二百五十キロ級の瞬發爆弾、百キロ級の侵徹爆弾にも安全です

従つて丘や崖のない所では、もちろん造るわけにはゆきませんが、東京、横濱などのやうに地形が丘陵の多い所では、築造に適した場所があちらこちらに澤山ありますから、工夫と努力次第では、たくさんの横穴式防空壕を造ることができ、防空上に非常な強味となるわけです

政府ではさし當り防空上重要な地區を指定して、この地區内の都市部や市町村に命じて、できるだけたくさんの横穴式防空壕を造らせることになり、この費用は國家から補助が出ることになつてをります。また労力については、警防團、學校報國隊、勤労報國隊などを勤労動員することになつてゐます。これのほかに、もちろん町會や隣組などで木小を問はず横穴式の壕を造つていたゞきたいのですが、この場合は、土質の調査や工事の専門的な點はどうしても



空襲に隣組見張り廃止

これまでは空襲警報が出た場合には、各隣組から一人づゝ防護監視員が見張りに立ち、敵機が來たら、「敵機來襲」と叫んで組内の者に待避を知らせ、それから自分も待避所に入ることになつてゐましたが、これは爆弾や爆風下の危險な任務である上、監視能力が乏しいため、かへつて混亂を起すこともあるので、こんど帝都をはじめ、京濱、阪神、名古屋、北九州の四大重要地區では、防空小區に防護監視員として特殊教育を受けた警防團員を配置し、敵機を發見したら半鐘や赤旗(夜は赤色燈)の待避信號で知らせ、これまでの隣組防護監視員は、待避信號の傳達員として隣組員を待避させることになりました。これは次のような要領で行ひます

防護監視所＝これまであつた物見櫓や高い建物等を利用して、防空小區を單位に、工場地帶のやうな人口の多いところでは、だいたい一キロ半、その他のところでは二キロの間隔で一ヶ所を、場所は上空四方がよく見渡せるところに設けます

防護監視員＝警防團員が專門に當り、一ヶ所に四名、別に二名の隣組員を置き必要な訓練を受けます

待避信號＝敵機がきたら、警鐘なら一點―七疎打（○　○―○―○―○―○―○）を鳴らし、赤旗(夜は赤色燈)は三十秒左右に振つて待避を知らせます

隣組待避信號傳達責任者＝これは、これまでの隣組防護監視員が當り、警戒警報が發令されたら、信號のよく見える安全な場所に立哨して、監視員の信號をたゞちに隣組員に知らせる役目をします

非常袋の準備

非常袋はなるべく、小形のもので背負へるやうに工夫し、必ず住所氏名を書いた木札を付けて置く。收容品の重さは大人で八キロ(二貫五百匁)、十三歳前後の子供は五キロ(一貫二百匁)くらゐが適當のやうである。内容の品としてとり上げられるものは澤山あるが、一應、次のやうなものが擧げられてゐる

(イ) 必ず入れて置きたいもの

最少限度の重要物品（衣料切符、食糧の通帳、印鑑、財布、貯金通帳、重要書類、電、その他、重要書類、貴重品、手帳、鉛筆）

最少限度の手廻品（手拭、チリ紙、郵便ハガキ、針糸、マッチ、ローソク、ナイフ等）

食糧品（二食分位の米、乾パン、塩など）

(ロ) 出來れば入れて置きたいもの

手廻品（櫛ミガキ、歯ブラシ、石鹸、提灯）

書記類（印鑑、貯金通帳、郵便、電、三角巾、油紙等の救急材料）

衣類（換衣＝一人一枚、帶紐、寝巻、乳幼児のある者はオムツ三、四枚、干菓子）

食器類（鍋、茶碗、水筒、飯盒等）

これからの空襲は、夜とか早朝とかが多いといはれるから、この非常袋は就寝の際、枕元に置くくらゐの用意がなくてはならないなほ、ご飯は前の晩に炊いて置くとよい

素人では困難なうへ、時に危險なこともありますから、しつかりした指導者(例へば町村や區の土木課等の技術者)の指導に從つて造らなければなりません。次に造り方の要領を説明してみませう

先づ場所をきめなければなりませんが、これには地形、地質、地下水等を考へて位置や構造をきめることが必要です。これは專門技術者の指導にまたねばなりません

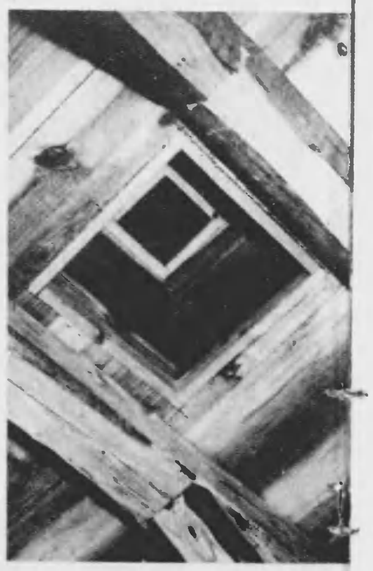
構式は第一圖のやうに、延長(奥行き)を約三十メートルとして一ヶ所に二本以上を

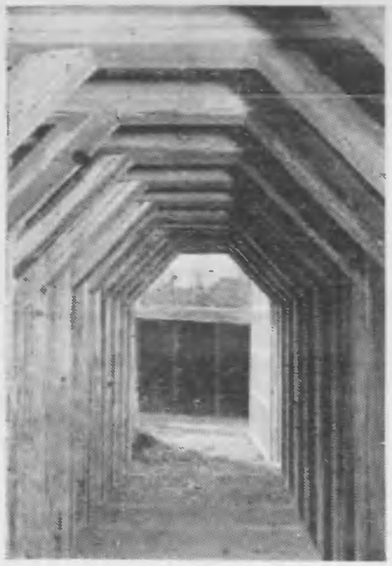
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

⇧ 内部は寝椅、馬蹄型に組られてゐる。土質さへよければ支保工はなくても大丈夫

空氣抜き、空氣はこれで自然に換氣される

避難の命令で老人、幼兒、病者等が指導者に從つて整然と待避する。壕内には照明を原則として設備すること ⇦





⇨ 壕の入口、必ず換氣孔を設けなければならない

⇧ 完全な支保工を施された壕の出入口

横穴式防空壕の造り方

します

構造は 地形や地質に應じて、それぞれ工夫しなければなりませんが、一様にいふことはできませんが、一つの標準を示しますと

イ 型式は原則としては素掘式にしますが、地質の軟弱な所では、第三圖のやうに支保工をしなければなりません

ロ 配置は壕と壕の間を十五メートル以上にします（第二圖④）

ハ 平面形狀は爆風を考慮して適當に屈折するとよいのですが、かうすると工事が少むづかしくなり、また經費も餘計にかゝります（第二圖ロ）

ニ 隧面は幅二メートル、高さ二・二メートルの馬蹄型を標準とします

ホ 出入口は防護扉を設け、扉の前面には厚さ一メートル以上の防護壁を造ります

ヘ 支保工は地質の軟かいときに第三圖のやうに施します

ト 排水のため側溝を造り、勾配を適切にして自然に排水できるやうにします

チ 換氣孔を造つて自然換氣にします

リ 便所は五十人ごとに一箇を設けます。

こんな樣式で造ればよいのですが、位置や造り方が決まれば、扉のほかはシャベルや鍬はしさへあれば素人でも掘ることができるのですから、どし〳〵勞力を奉仕して造らうではありませんか

一つでも多くつくることが敵爆撃の防害をして、その效果を少くする防空の戰ひなのです

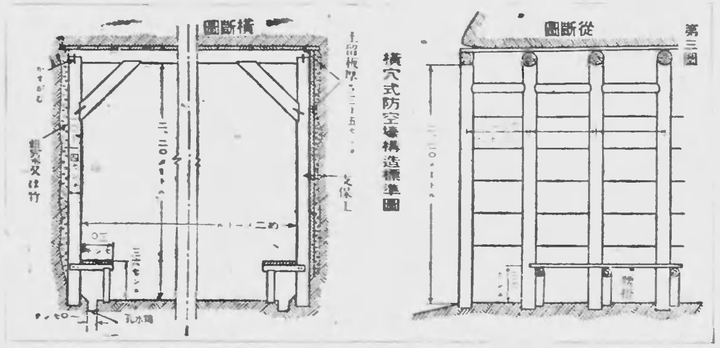
この横穴式防空壕を使ふ場合には、次の事項をよくわきまへて置いて、前もつて用意されてゐなければなりません

第一には避難者が壕に待機するまでの時間を考じめ計つて置くこと

第二にはいざといふとき、避難者が一ケ所に殺到して混亂しないやうに、前もつてその壕へ入るものを決めておき、またときどき避難訓練をしておくこと

第三は避難者を入れる時間は、空襲警報發令のときを原則としますが、不時の空襲のときにも狀況の許す限り入れます。擔架等で運ばなければならない病人や特定の人は、警戒警報發令のときに收容しておきます

かうした注意のもとに防空活動に萬全を期し、敵機來れの心構へをいよ〳〵固くし、待つまをを待ち態勢を整備しておきませう



アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

活動寫眞が汽車に乘つて

たゝ來 たゝ來

あと二つねれば……
幼い胸ははずむ

春とはいひながら北の國はまだ雪にとざされてゐます。しかも、北海道には電燈のない村、電燈のない驛があつて、人々は荒涼そのもののやうな自然の猛威と戦ひながら、食糧增産に、輸送の確保に血みどろの努力を拂つてゐます。移動映画列車は、この人々のたとへやうのない勞苦に酬いようと、札幌鐵道局が全國で最初に試みた快速慰問使です

大型の特別車を改造して映寫設備を施し、觀客は二百人位、しかも画面の明るさや音の確かさは、札幌の一流館にも決して劣りません。映画列車が逞ましい職の樂きと共に運ぶ娯みを、北國の人々は春の訪それ以上に喜び迎へたとでせう

撮影　北海道新聞社

中間線路班の人々も、農村の人々も雪の山越えをして

⇨ 萬歲！ 萬歲！ 映画列車萬歲！

⇨ 着々準備は進む

⇨ 初めて見るトーキーに驚きの眼をみはつて

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

共榮圈だより

マライの夏場所

「えー東ーい、印度洋、西ーえ、マライ山」と、マライは原住民警察隊成所生徒の夏場所風景、卒業生はすでに各地に駐在して、みんなから喜ばれてゐます

ラングーンの街角

街角に黒山の人だかり、時折わあつといふ歓声です。のぞいてみるとこれはとこれは――、ビルマの子供たちが、くんづほぐれつの草相撲です

社信通報同盟　撮影

とゝも瑞穂の国

あまり深くならぬやうに、さりとて浅いと根がうくよ――とジャワ農事試験場の教官は研究生たちの手許にめん密に眼をくばりながら、日本式田植の指導です

イラワジの岸邊

イラワジの岸邊に荷船が着いた。すると日かげに待機してゐたビルマの女たちの荷あげ作業がはじまる。素足にまつわる水は午後の日ざしに温のやうに温かい

やがて畑に

ぼうぼうといふ土埃と、むせかへるやうな植物のいきれ。蔓藤地開墾にいそしむジャワの女たちの背には、べつとりと汗がながれます。やがて、こゝにも畑が

黒い肌と黒ダイヤ

指導次第ではセレベスの原住民だつて、コークス位はりつぱにつくれるのです。働きは不活潑に見えますが、共榮圏建設の決意固く、石炭山に素足の元氣です

★表紙

「女ながらも戦つてゐるといふ自覚。何んといふ誇らかな自覚でせう。妾たちはこの自覚以外に何の不安もありません。今度の非常措置で今まで踏切れなかつたお友達も澤山見えるでせうが、どうか安心して仲間入りして下さいと、心から申上げます」

陳亞遠兵廠の挺身隊員から

「寫眞週報」戦時版のお報らせ

本誌は来る四月五日號から現在の大きさの倍のA3版總グラビア印刷八頁（戦時版）として發行することになりました。戦局の要請にもとづきこれによつて用紙の節約をはかるとともに新構想のもと寫眞實傳の威力を一段と發揮するやう編輯に最善の創意工夫を加へることになり目下着々と準備を進めてをります。御期待下さい。尚次の三月二十九日號は休刊いたします

照準器

大東亞戦爭漫画日誌　石川進介

バツチン屋星

遺棄死體ヒト占領

一見郎！名は敵ッぱはすつと――。お嬢さんはバツチンつぎと出ましたサ

女子勤勞隊制の結成強化

サアー、新らしいスタートだ

英軍壊滅さる

種蒔く人　横山隆一作（六）

國民合唱　少年兵を送る歌

大日本青少年團　制定

♩=114

一ム　ネニ　ツケタル　クレーナヰノ
ニく　にを　あげての　けーつせんに

ワカキ　ホコリノ　コノーシル　シ　イマコソ
われら　ゆくべき　みちーひとつ　と　ほくか

ワレーラ　クニーノータメ　イノチササゲルそ
みよーの　むかーしーより　いつたへうけたる

トキゾキヌユ　ケヨミクニノ　セウーネンヘイ
このちしほゆ　けまみくに　の　せう　ーねんへい

少年兵を送る歌

（二月二十日から三十一日まで日劇を除く毎日午後六時から八時の時間に流して放送）

一
胸につけたる　くれなゐの
若きほとりの　とのしるし。
今こそ我ら　國のため、
命捧ぐる　時ぞ來ぬ。
征けよ、皇國の少年兵。

二
國を擧げての　決戦に、
我ら行くべき　道一つ、
遠く神代の　昔より、
傳へ承けたる　この血潮。
征けよ、皇國の少年兵。

三
君がかざすを　まばゆみて、
富士の高嶺も　目逸らむ。
かの大空に　海時に、
示せ、神国の　ちからと胸。
征けよ、皇國の少年兵。

四
あゝ、神洲の　若さくら、
散りて榮ある　たのもされ。
燃ゆる決意の　眉あげて、
後につづかん　我らまた。
征けよ、皇國の少年兵。

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

兵站基地滿洲

大陸旅行のお問合せは
滿鐵鮮滿支案內所へ

東　京　東京都麴町區有樂町一番地ノ二帝國生命會館內
大　阪　大阪市東區堺筋安土町二丁目
名古屋　名古屋市中區榮町三ノ一
敦　賀　敦賀市津內町一〇四號字白銀町三ノ八
門　司　門司稅關前
長　崎　長崎市萬屋町七九
下　關　下關驛構內山陽ホテル前
福　岡　福岡市下小山町一二
新　潟　新潟市古町通六番町九五九
札　幌　札幌市北二條西三丁目一番地

寫眞週報（禁無斷轉載）

昭和十九年三月廿二日　印刷發行

編輯者　情報局
印刷者　東京都麴町區永田町一ノ一
發行者　印刷局
東京都麴町區大手町

定價
一部十錢（送料一錢）
（外國郵送に依る地域は送料共一部十九錢）
▲特大號の場合は其の部數に應じ別に金拾錢より差額を申受けます

申込所
全國各地官報販賣所及郵便局
書店・驛賣店
新聞販賣店

本誌掲載の寫眞中、撮影者名叙位ひは提供者名を特に明記しないものは財團法人寫眞協會による複寫です。
又この製作には軍部及海軍省の承認濟の複寫製版です。

本誌を回覽に

本誌を、隣組や職場で回覽するなど、出來るだけ有効に御利用下さい

前線慰問にも

またお讀みになつた本誌を前線慰問に送りませう。送料は内地と同樣で帶封あるひは開封にして第三種と明記すれば一部一錢です。

（本書の大きさは列車報道班員用A4判規定國はがき大の書本）